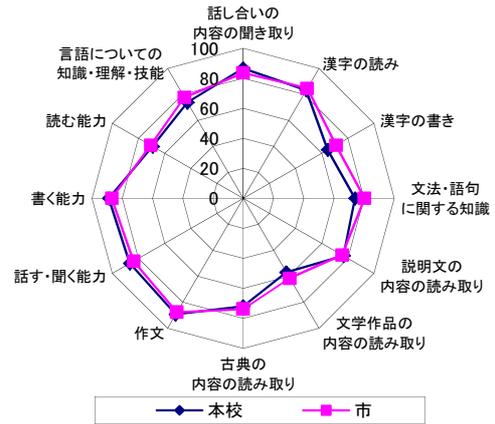


宇都宮市立瑞穂野中学校 第3学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

	本年度		
	本校	市	
問題の内容別	話し合いの内容の聞き取り	86.6	83.7
	漢字の読み	83.3	84.7
	漢字の書き	64.6	70.9
	文法・語句に関する知識	74.0	80.3
	説明文の内容の読み取り	76.5	75.5
	文学作品の内容の読み取り	56.9	61.6
	古典の内容の読み取り	71.9	73.9
	作文	89.3	87.7
観点別	話す・聞く能力	86.6	83.7
	書く能力	88.9	86.9
	読む能力	69.2	70.6
	言語についての知識・理解・技能	73.8	77.6



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内容の聞き取り	市の平均正答率を3%上回っている。「話し合いの展開をとらえる」問題の正答率が良い。反面「話の内容を正確にとらえる」問題の正答率が低い。	話を聞くときに概略だけでなく細部の表現も正確に聞き取る姿勢を身につけさせる。
漢字	市の平均正答率を4%下回っている。実生活での使用頻度の少ない「読み」や、「書き」での正答率が低い傾向にある。	「書き」は小学校での既習漢字なので、「瑞穂野地域学校園漢字習得基準表」を活用し、スタンダードテストでの意識付けと習得を図る。
文法・語句に関する知識	市の平均正答率を約6%下回っている。特に「熟語の構成」については14%下回っている。「四字熟語」については10%下回っている。	「熟語の構成」は一年生での既習事項なので、「漢字の学習」や「ことば」についての単元で、学年を遡っての復習を行い確認する機会を設ける。
説明文の内容の読み取り	市の平均正答率を1%上回っている。解答形式が選択式の問題において、正答に似た選択肢を選んで誤答する傾向がある。記述式の問題については、正答率が2～4%上回っている。	文の意味をとらえることだけでなく、細部の表現にも注意して意味をとらえたり文を作ったりする活動を繰り返して、より正確に意味を把握する習慣をつける。
文学作品の内容の読み取り	市の平均正答率を5%下回っている。特に「場面の様子をとらえる」「表現の仕方に注意して文章を読む」問題では10%以上下回っている。解答形式が選択式の問題において、正答に似た選択肢を選んで誤答する傾向がある。	文章の読解においては、細部の表現に注意してより正確に意味を把握する習慣をつける。
古典の内容の読み取り	市の平均正答率を2%下回っている。特に文中から言葉を選ぶ問題での正答率が低く、違う言葉を選んでしまっている。	古文の意味をとらえるのではなく、古語の意味を理解して自ら現代語に訳す学習を繰り返し、古語の語彙力を養成する。
作文	市の平均正答率を約2%上回っている。無回答率が、市の平均より5%下回っていて、堅実に取り組んでいる姿勢がうかがえる。「論理の展開を工夫して書く」項目において、グラフから読み取った内容であることが不明瞭な解答が多く、条件不足となっている。	問題文の条件を確認せずに解答してしまう傾向があるので、条件まで確認することを習慣づける。また、読み手に正確に伝わる表現の工夫という観点で文章を書く機会を多くする。